

## 医学系研究に関する情報公開について

西暦 2022年 4月 19日作成

下記の研究は、福岡リハビリテーション病院の医療倫理委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	鏡視下腱板修復術後の患者満足度に関連する因子の検討
当院の研究責任者 (所属)	花田 靖文
研究期間	2021年9月1日～2026年8月末
調査データの該当期間	西暦 2021年9月1日～西暦 2022年3月31日
研究対象となる方	対象：ARCRを施行した方 除外基準：①肩関節に既往歴がある方 ②認知機能低下している方 理由：①：腱板断裂により ARCR を施行した者を対象としており肩関節に既往歴があることで肩関節に器質的な変化を生じるため除外した。②：主観的評価や質問紙を使用するため認知機能が低下している方は除外した。
研究の意義と目的	術後の患者満足度に関わる因子を明らかにすることで時期に応じた機能的、心理的アプローチを優先的に実施し外来リハビリが終了した後も満足した経過を送ることができると考えた。したがって本研究は、ARCR後1年経過時の手術に対する患者満足度と術後3ヶ月、6ヶ月時の因子との関連を明らかにすることを目的とした。
研究の方法	研究デザイン：縦断的研究 測定時期：術後3ヶ月、6ヶ月、1年
研究に用いる試料・情報	① 測定項目：基本情報：年齢、性別、罹患側、仕事有無、既婚歴、最終学歴 ② 術中情報：断裂サイズ、縫合筋、縫合様式 ③ 疼痛評価：安静時・夜間時・運動時痛の Numerical Rating Scale (NRS) ④ 機能評価：屈曲・外転・外旋・結帯自動可動域 (ROM) 屈曲・外転・外旋・内旋筋力 (HHD) ⑤ 画像評価：sugaya 分類 ⑥ ADL 評価：Shoulder36Ver. 1.3 (Sh36) ⑦ 心理的評価：Pain Self-Efficacy Questionnaire (PSEQ) Pain Catastrophizing Scale (PCS)

	Hospital Anxiety and Depression Scale (HADS) ⑧ 患者満足度：手術に対する患者満足度 Net Promoter Score (NPS)
外部への試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	個人の情報は、エクセルに情報を入力後、個人が特定できないようにID化する。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡リハビリテーション病院 所属 <u>リハビリテーション部</u> 担当者: <u>花田 靖文</u> 電話: 092-812-1555(代表) 対応可能時間 平日 9:00~17:00